

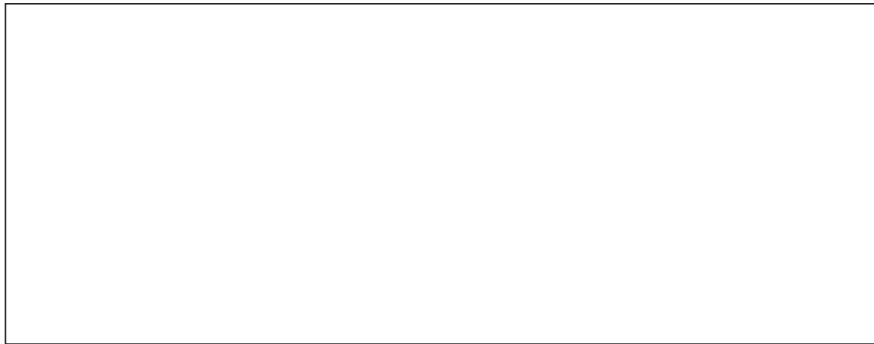


絶景の冬山ガイド④



奈良県 大峰山脈
山上ヶ岳 (1719m)

修験者が鍛錬を積む断崖絶壁
文・写真◎小島誠孝



山上ヶ岳登山

歩行時間●7時

アクセス●【往復】近鉄下市口駅から奈良交通バスで1時間18分洞川温泉バス停下車。(バスの場合、日帰り不可能なので前泊すること)マイカーの場合、南阪奈道橿原市から洞川温泉へ約55km。温泉街を通りぬけ母子堂を経て、清浄大橋の駐車場へ(積雪期)

参考タイム●洞川温泉バス停(10分) 清浄大橋(1時間10分) お助け水(20分) 洞辻茶屋(1時間) 山上ヶ岳(1時間) 洞辻茶屋(15分) お助け水(50分) 清浄大橋(15分) 洞川温泉バス停

2万5千円●洞川、弥山

問合せ先●天川村役場企画観光課☎0747-63-0321、奈良交通☎0742-20-3150、日帰り温泉「洞川温泉」☎0747-64-0800

アドバイス●「油こぼし」は年によってつく氷の状態が異なる。鐘掛岩はクサリとフイックロープが設置されているが慎重に行動しよう。横断道を下る際、雪の下は木製階段なので踏み抜きに注意。参考タイムは積雪状態やトレースの有無で大きく変わる。



この断崖絶壁に這い上る

やがて道の傾斜は緩み、お助け水に着く。水場を離れば、左から沢が迫り、二少年遭難碑を正面にする。右折する急坂を登って洞辻茶屋に着けば、鐘掛岩、稲村ヶ岳が望める。洞辻茶屋を過ぎ、自然林に囲まれた陀羅助茶屋、松清茶屋を通り抜けると、尾根西面を斜上する横断道と東面の急な露岩の鎖場道に分かれる。ここは「油こぼし」と呼ばれる東面の鎖場道を登って役ノ行者坐像の前へ出る。鐘掛岩は右へエスケープできるが、真つ直ぐ上の展望台から鎖場を登ろう。鐘掛岩の岩頭に立てば、洞川温泉街を眼下に、遮るものない絶景だ。



この断崖絶壁に這い上る

鐘掛岩からは南側の鞍部へ降りる。横断道を右から迎え、お亀石等覚門を過ぎれば鷹ノ巣岩、稲村ヶ岳を指呼の間にする西ノ覗岩に上る。夏場は先達に連れられた人がこの断崖絶壁に這い上りになり、祈禱の言葉を唱える姿が見られるが、冬は静寂に包まれている。遮るものがなく展望が素晴らしい。西ノ覗岩からは急斜面を登る。宿坊群を左右にして浄心門をくぐったら大峯山寺が建つ山頂広場へ着く。本堂前から右へ少し登って山頂から雪原へ向かう。弥山・八経ヶ岳など白銀の峰々が続く。折りの道。を望んだら、日本岩から龍泉寺宿坊横通り、鐘掛岩手前の鐘掛横断分岐まで戻って、これを下る。松清茶屋へ出たら、あとは来た道を洞川温泉バス停へ行けばよい。

後にして、ゴロゴロ水、母公堂を経て清浄大橋までゆく。山上ヶ岳を正面に仰ぎ清浄大橋を渡り、女人結界門から山道へ入る。杉木立を縫い九曲折に登れば一ノ世茶屋跡を通る道は、やがて山裳を絡み登って一本松茶屋を通り抜ける。先へ進み、鉄階段が上がって振り返ると大天井岳が垣間見える。



雪に覆われた浄心門

雪を冠した門をくぐり、聖山の懐へ



鐘掛岩頂の石仏

山頂には霧氷をまとった木々が立ち並ぶ



「大峯山」の名で知られる山上ヶ岳は国内で唯一、現在も女人禁制を貫く修験道の聖山である。毎年5月8日の「扉開け」から9月27日の「扉閉め」までの無雪期参詣登山が有名だが、厳冬期の1月2日、修験者が山上ヶ岳へ詣ることは、あまり知られていない。これまで修験者だけが眺めてきたであろう、知られざる祈りの道と、その絶景を紹介する。

厳冬期の山上ヶ岳へは洞川温泉での前夜泊がよい。早朝、旅館を